



2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月10日

上場会社名 株式会社サンオータス 上場取引所 東
 コード番号 7623 URL <https://www.sunautas.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 俊
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久米 健夫 TEL 045-473-1211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績(2024年5月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年4月期第1四半期 | 4,361 | 10.2 | 37 | △26.4 | 34 | △35.4 | 24 | △32.0 |
| 2024年4月期第1四半期 | 3,959 | 0.0 | 51 | △29.8 | 53 | △26.6 | 36 | △52.6 |

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 29百万円(△29.6%) 2024年4月期第1四半期 42百万円(△46.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年4月期第1四半期 | 7.72 | — |
| 2024年4月期第1四半期 | 11.34 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年4月期第1四半期 | 11,684 | 3,328 | 28.5 |
| 2024年4月期 | 11,747 | 3,360 | 28.6 |

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 3,328百万円 2024年4月期 3,360百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年4月期 | — | — | — | 19.00 | 19.00 |
| 2025年4月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年4月期(予想) | — | — | — | 21.00 | 21.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,500 | 17.2 | 350 | 42.3 | 400 | 50.9 | 330 | 26.3 | 102.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2025年4月期1Q | 3,230,500株 | 2024年4月期 | 3,230,500株 |
| 2025年4月期1Q | 7,665株 | 2024年4月期 | 7,665株 |
| 2025年4月期1Q | 3,222,835株 | 2024年4月期1Q | 3,227,961株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年5月1日～2024年7月31日)におけるわが国経済は、物価上昇の企業や家計への影響は継続して懸念されておりますが、2024年4月～6月期の実質GDPはプラスとなり、緩やかに回復する傾向にあります。神奈川県景気につきましてもインバウンド消費は好調を維持しておりますが、物価高が重荷となり個人消費は緩やかなペースでの回復となっております。

当社グループ事業の環境につきましては、石油製品販売業界においては、原油価格(WTI原油)は、1バレル70ドル前半から80ドル台で推移しました。原油価格が高止まりしていることから、政府はガソリン価格高騰を抑える施策として元売事業者等を対象に、燃料油価格激変緩和対策事業を継続して実施しております。

自動車販売業界におきましては、半導体を始めとした部品不足の問題が解消に向かい、新車の生産体制は改善に向かっておりますが、外国メーカー車の新規登録台数は継続している円安や輸送コスト増加もあり、当第1四半期連結累計期間(5月～7月)は55,723台(前年同四半期比8.7%減)となりました。(出典:日本自動車輸入組合輸入車登録台数速報)

以上の結果、売上高は4,361百万円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益37百万円(前年同四半期比26.4%減)、経常利益34百万円(前年同四半期比35.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、24百万円(前年同四半期比32.0%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業(石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備)

サービスステーション(SS)につきましては効果的な集客イベント等により、燃料油の販売量が増加基調にあることに加え、前期に子会社化した販売会社の売上が貢献し大幅な増収となっております。またSS利用者増加を目指し、ENEOSアプリやENEOSカード等の会員を積極的に獲得し、洗車・コーティング・車検等の油外販売に繋げ、SSサービス拡充によるリピーター化を進めております。

エンジン洗浄機販売部門ではコロナ明けで本格化した全国での展示会出展を増やしており、物流費の上昇や2024年問題への対応策として、トラック整備分野での需要が増加しております。

この結果、売上高は2,932百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。また、セグメント利益は87百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

② カービジネス事業(プジョー、ジープの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー、モビリティ事業)

レンタカーにつきましては、昨年からの自動車メーカーのリコールによる代車需要が落ち着いたものの、国内観光やインバウンドの需要拡大により個人チャネル貸出しが増加し、法人需要もコロナ前まで回復、稼働率も貸出単価も向上し堅調に推移しております。今期は人気車種を積極的に導入し、各店舗のマーケット特性を生かした車両の適正配置により効率的な運営を強化してまいります。

輸入車販売においては、メーカーによる新車の生産台数は回復しつつあり、供給体制は改善されてきておりますが、主力車種であるプジョー208や3008の新型車の国内導入が遅れており、新車の販売は厳しい状況が続いております。しかし、認定中古車販売の拡大、整備部門の強化により顧客接点は拡大し業績は改善傾向にあります。

モビリティ事業では、継続して行政、自治体、関連団体と連携し、地域活性化かつ脱炭素社会形成に即した移動手段(モビリティサービス)の開発を拡張しています。4月には国が推進する「デジタル田園都市国家構想」に基づき神奈川県より採択を受け、この8月に宮ヶ瀬湖周辺エリアにおいて電動キックボード、及びスポーツ型電動アシストシェアリングを用いた地域交通実証を開始、同じく4月に神奈川県公募型プロポーザル採択により、10月から神奈川県西地域における「脱炭素モビリティを活用した周遊促進業務」をスタートいたします。

今後も環境保全、及び観光振興に即したモビリティ事業を拠点数の拡張とともに積極的に展開してまいります。

この結果、売上高は1,279百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。また、セグメント利益は12百万円(前年同四半期比32.5%減)となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務）

当事業では、来店型保険ショップ「ほけんの窓口」を3店舗展開しております。「ほけんの窓口」では、親しみやすいTVCM効果もあり、集客力が向上し相談件数も増加しております。また今年からスタートした新NISA制度により保険商品への関心も高まり業績は改善基調です。また、当社グループ顧客等に対して継続して「サンオータス保険」を展開し火災保険、自動車保険等の総合サービスの拡充を進めており、前年比で売上、損益面ともに改善につながっており、第1四半期は黒字化の実績となりました。

この結果、売上高は46百万円（前年同四半期比13.1%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

不動産関連部門につきましては、老朽化により閉店した新吉田SSをモビリティサービス付き共同住宅に改築し2023年6月に竣工、売上は増加しましたが、既存物件の改修等一時的な費用の発生により減益となりました。今後は安定的な収益計上が見込まれます。総合ビル・メンテナンス部門におきましては、提案型営業、新規案件の開拓を継続しております。採算性を意識した活動により増収・増益の実績となっております。

この結果、売上高は132百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益は24百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

総資産は前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、11,684百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、3,658百万円となりました。これは主として現金及び預金が20百万円、受取手形及び売掛金が151百万円増加したものの、「その他」に含まれる前渡金が48百万円、未収入金が59百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、8,025百万円となりました。これは主として繰延税金資産が5百万円減少したものの、投資有価証券が7百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

負債は前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、8,355百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、5,169百万円となりました。これは主として1年内返済予定の長期借入金が30百万円、リース債務が16百万円、「その他」に含まれる未払金が10百万円、預り金が10百万円増加したものの、買掛金が74百万円、賞与引当金が44百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、3,185百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が13百万円減少したものの、長期借入金が16百万円、リース債務が19百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は当第1四半期連結累計期間の業績を反映し3,328百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少して、28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年6月17日に公表の数値を変更しておりません。なお、この連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 806,328 | 826,823 |
| 受取手形及び売掛金 | 910,370 | 1,061,522 |
| 商品 | 1,626,509 | 1,495,046 |
| 貯蔵品 | 2,536 | 4,450 |
| その他 | 403,359 | 296,018 |
| 貸倒引当金 | △23,816 | △24,892 |
| 流動資産合計 | 3,725,287 | 3,658,970 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,263,749 | 1,243,998 |
| 土地 | 4,668,586 | 4,668,586 |
| リース資産(純額) | 683,796 | 725,108 |
| その他(純額) | 442,644 | 426,467 |
| 有形固定資産合計 | 7,058,776 | 7,064,160 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 16,178 | 16,095 |
| 無形固定資産合計 | 16,178 | 16,095 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 91,314 | 99,228 |
| 差入保証金 | 300,118 | 296,491 |
| 繰延税金資産 | 144,553 | 139,151 |
| その他 | 421,096 | 419,316 |
| 貸倒引当金 | △9,395 | △9,395 |
| 投資その他の資産合計 | 947,688 | 944,793 |
| 固定資産合計 | 8,022,643 | 8,025,050 |
| 資産合計 | 11,747,931 | 11,684,020 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 984,526 | 909,868 |
| 短期借入金 | 3,010,000 | 2,997,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 383,008 | 413,808 |
| リース債務 | 294,428 | 311,050 |
| 未払法人税等 | 12,526 | 5,413 |
| 賞与引当金 | 93,115 | 48,154 |
| その他 | 444,420 | 483,520 |
| 流動負債合計 | 5,222,024 | 5,169,314 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,074,480 | 2,090,577 |
| リース債務 | 487,669 | 507,215 |
| 役員退職慰労引当金 | 139,258 | - |
| 退職給付に係る負債 | 333,089 | 319,231 |
| 繰延税金負債 | 47,547 | 48,682 |
| その他 | 83,405 | 220,206 |
| 固定負債合計 | 3,165,450 | 3,185,913 |
| 負債合計 | 8,387,475 | 8,355,228 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 767,729 | 767,729 |
| 利益剰余金 | 2,471,565 | 2,435,222 |
| 自己株式 | △332 | △332 |
| 株主資本合計 | 3,338,962 | 3,302,619 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,492 | 26,172 |
| その他の包括利益累計額合計 | 21,492 | 26,172 |
| 純資産合計 | 3,360,455 | 3,328,791 |
| 負債純資産合計 | 11,747,931 | 11,684,020 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2024年7月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,959,255 | 4,361,370 |
| 売上原価 | 2,982,974 | 3,348,336 |
| 売上総利益 | 976,281 | 1,013,033 |
| 販売費及び一般管理費 | 925,132 | 975,407 |
| 営業利益 | 51,148 | 37,626 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 938 | 1,091 |
| 受取手数料 | 5,301 | 5,885 |
| 仕入割引 | 2,639 | 3,708 |
| その他 | 9,524 | 7,972 |
| 営業外収益合計 | 18,404 | 18,659 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,841 | 18,573 |
| その他 | 293 | 3,183 |
| 営業外費用合計 | 16,135 | 21,756 |
| 経常利益 | 53,418 | 34,528 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 582 | - |
| 棚卸資産除却損 | 2,954 | - |
| 特別損失合計 | 3,537 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 49,881 | 34,528 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,000 | 5,468 |
| 法人税等調整額 | 8,269 | 4,170 |
| 法人税等合計 | 13,270 | 9,638 |
| 四半期純利益 | 36,611 | 24,890 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 36,611 | 24,890 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2024年7月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 36,611 | 24,890 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,415 | 4,679 |
| その他の包括利益合計 | 5,415 | 4,679 |
| 四半期包括利益 | 42,026 | 29,569 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 42,026 | 29,569 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 147,001千円 | 144,904千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-------------|--------------|---------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | エネルギー 事業 | カービジ ネス事業 | ライフサポ ート事業 | 不動産 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,531,355 | 1,274,105 | 41,145 | 112,648 | 3,959,255 | — | 3,959,255 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,565 | 18,579 | — | 5,996 | 27,141 | △27,141 | — |
| 計 | 2,533,920 | 1,292,685 | 41,145 | 118,644 | 3,986,396 | △27,141 | 3,959,255 |
| セグメント利益又は損失(△) | 91,654 | 18,020 | △2,448 | 26,658 | 133,884 | △82,735 | 51,148 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,735千円には、セグメント間取引消去3,644千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,289千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-------------|--------------|---------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | エネルギー 事業 | カービジ ネス事業 | ライフサポ ート事業 | 不動産 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,928,189 | 1,260,678 | 46,518 | 125,984 | 4,361,370 | — | 4,361,370 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,779 | 18,399 | — | 6,814 | 29,994 | △29,994 | — |
| 計 | 2,932,969 | 1,279,077 | 46,518 | 132,799 | 4,391,364 | △29,994 | 4,361,370 |
| セグメント利益 | 87,435 | 12,165 | 2,242 | 24,037 | 125,880 | △88,254 | 37,626 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,254千円には、セグメント間取引消去6,011千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,266千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2024年7月25日開催の当社取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことについて決議し、2024年8月22日に払込手続きが完了いたしました。

自己株式の処分の概要

| | |
|------------------|--|
| (1) 払込期日 | 2024年8月22日 |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 7,000株 |
| (3) 処分価額 | 1株につき566円 |
| (4) 処分総額 | 3,962,000円 |
| (5) 処分先 | 当社の取締役(※) 3名 7,000株 ※監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。 |